

▲東京府第一高等女學校 同校は本年四月より淺草七軒町の新校舎にて、授業開始の筈にて、本年募集の生徒は第一學年に約百二十名第二第三學年に各約八十名にして入學願書の差出期限は本月二十迄 入學試験は現校舎にて施行、其期日は左の如しとなり。

第一學年 三月三十日

第二學年 三月三十一日

第三學年 四月一日

但し試験初日は各學年とも午前七時に出校すべしとのこと。

▲日本女子大學校生徒募集 同校にては、本年四月新學期開始に付、家政、國文、英文の三學部各一年級、英文學部豫科一、二年級、并に附屬高等女學校一年級より五年級まで、各級に入學を許可するよし、申込期日は三月二十日なるが、申込の順序を以て入學を許可すべきに付、豫定人員に達すれば、期日内と雖ども願書を受けざるべしとのことあるべしと云ふ。

▲日本淑女學校の創立 昨年以來本郷千駄木町に建築工事中なる日本淑女學校は、最早大部の工事も進行したるを以て、來る四月初旬開校すべしと云ふ。

▲東京女學校 鳥尾子爵の統轄に係る下谷黒門町の東京女學校は今回本郷區駒込千駄木町右田子爵邸内二千餘坪を借り受け、新築に着手したるが來る三月下旬には竣工の豫定にて、技藝專修科裁縫教員養成科、并に三ヶ年の研究をも併置する由。

▲愛敬女學校 赤坂檜町なる同校は、此程大改革を行ひ新たに

久保乾太郎氏校長となり講師を増聘し寄宿舎を設け、女生徒の入學を許す由。

▲體操學校女子部の認可 日本體育會體操學校にては、女子小學體操教師養成の目的を以て同校に女子部を設置したき旨申請中なりしが、此程文部大臣より認可せられたるに付き、愈四月一日より開始する豫定。

▲家事科講習會 家庭改善の先導者を養成し、兼ねて文部省檢定試験に應ずる者の、爲めに設けられたる成女學校内同會は、今回第二期生を募集し、二月一日より新學期を開く、授業時間は毎週十五時間以上なりと云ふ。

●大日本割烹學會 石井泰次郎氏主任として専ら盡力せらる、京橋區鈴木町十一番地の同會は、愈隆盛の由なるが、その規則は左の如くなりと。

◎本教場は割烹學校假教場として本會所定の各學科を實修せしむるを以て目的とす

本科 日用惣菜、諸菜切方、交際料理、茶事懷石、支那料理、西洋料理、儀式料理、献立仕方

別科 日用惣菜、茶事懷石、交際料理、支那料理、西洋料理、諸菜切方

◎補修科 本科卒業者ノ爲ニ設ク學科ハ各

科

補修科

本科卒業者ノ爲ニ設ク學科ハ各

科

補修科

本科卒業者ノ爲ニ設ク學科ハ各

科

補修科

本科卒業者ノ爲ニ設ク學科ハ各

科

補修科

本科卒業者ノ爲ニ設ク學科ハ各

科

補修科

本科卒業者ノ爲ニ設ク學科ハ各

科

科ヲ通シテ又教授法及料理心得ヲ修學セシム

學 本科 一ケ年 毎日曜日 自午前九時 一週一回
至午後二時
別科 一ケ年 毎金曜日 自午前十時 一週一回
至午後三時
補科補 修學者ノ都合上學期ヲ定メス

◎各科共入學ノ時日ヨリ學期ヲ計算ス

學 本科 (束修金壹圓) 授業料 一ケ月 金壹圓
別科 (束修右同) 授業料 右同
補修科 授業料ヲ半額トス

◎各科共毎月第一授業日ニ納ムルモノトス

(實修ニ要スル原料費ハ各科共一ケ月約金壹圓内外トシ(是ヲ四回或ハ五回ニ分テテ)授業ノ都度計算シテ次回ニ支拂フモノトス)

●新編縣女子師範學校 同校にては久しき以前

より筒袖說ありたるも、體裁等に關シ異論あり、實行されざりしが、今回普通の筒袖に稍異なる筒

袖を製作し、去月二十五日より之を決定し、其の下に蝦茶袴を着用せしむと。

●留學生歸朝 文部省留學生として、米國に留學專ばら體操科の研究に従事せられし井口あぐり

女子史は先月四日無事歸朝せられたり。女子の體育の兎角不振勝なる今日此頃、希くは同女子史の歸朝によりて大に面目を改むるに至らんか▲同じく獨逸に留學を命ぜられ音樂研究に従事せられし幸田

幸子女子史は先月廿日無事歸朝せらる。西洋音樂の益々隆盛を來せる折柄、我音樂界は更に幾層の發達を望むを得んか。

●府下瀧の川の康樂園 同園は本會員印東氏の經營に係るもの、盛んに西洋草花を栽培して顧客の需に應ずる由、目下春陽來復の好時節、爛熳たる諸種の草花は廣漠たる庭園に充滿して眩々許な